



# ネイチャーセンターだより

2020年4月号

## 新・いきもの図鑑



## ヒドリガモ (カモ科)

ヒドリガモは、ロシア北部から北ヨーロッパで繁殖し、日本には冬鳥として渡来するカモの仲間です。根室では春と秋によく見られ、渡りの途中に風蓮湖や温根沼などに立ち寄ってゆきます。春国岱周辺では、多い時には1,000羽以上の群れが見られることもあります。

好物は、湖や海の底にはえる海草のアマモや海藻類です。時々、オオハクチョウが水底から採ったアマモのおこぼれを食べていることもあります。また陸上の植物もよく食べるので、牧草地や芝地を歩きながら草を探す姿も見られます。オスは、「ピューイ、ピューイ」と、かん高く透き通った声で鳴きます。(写真の左がメス、右がオス)

【参考文献】  
福田道雄. 1996. 日本動物大百科第3巻鳥1.  
氏原巨雄・氏原道昭. 2015. 決定版日本のカモ識別図鑑.

## クマゲラ、続報！！

2019年10月と12月、春国岱のアカエゾマツコースで、クマゲラがそれぞれ2回観察されたのは前号のニュースでお知らせしたとおりですが、その後、なんと2月と3月にも引き続き見つかりました。これまでの情報をまとめると以下ようになります。

観察日	観察内容	観察者
2019年10月14日	鳴き声、オス1羽を目撃	秋のハイキング参加者
2019年10月18日	オス・メス各1羽を撮影	来館者の方
2019年12月11日	鳴き声 (1羽)	瀬法寺理香さん
2019年12月30日	鳴き声 (1羽)	柳原風輝さん
2020年2月27日	メス1羽を撮影	穴沢藤則さん
2020年3月27日	鳴き声 (1羽)	稲葉一将

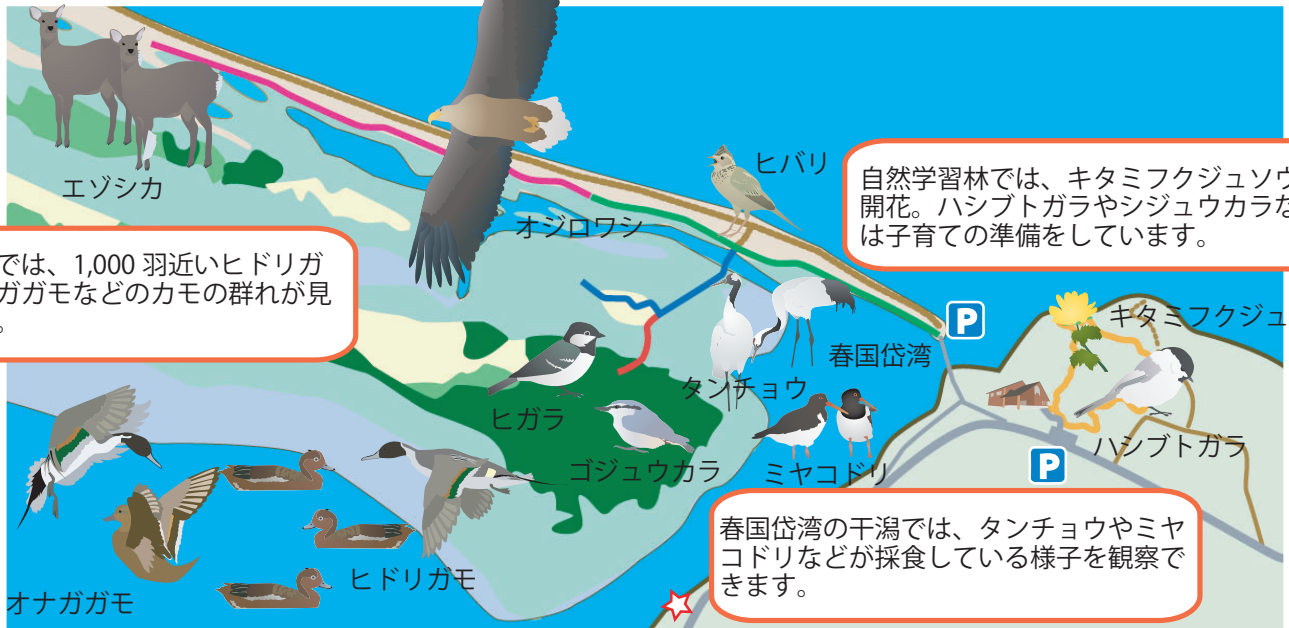


写真は2013年に撮影されたオスのクマゲラ

1月は情報がありませんでしたが、2月・3月に記録されていますので、おそらく越冬したと思われます。そろそろ繁殖期が始まりますが、このまま春国岱の森にいついてくれるのでしょうか。ネイチャーセンターでは、クマゲラの動向を注視していきたいと思ひます。

# NEWS

# 見どころMAP



風蓮湖内では、1,000羽近いヒドリガモやオナガガモなどのカモの群れが見られます。

自然学習林では、キタミフクジュソウが開花。ハシブトガラやシジュウカラなどは子育ての準備をしています。

春国岱湾の干潟では、タンチョウやミヤコドリなどが採食している様子を観察できます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 4月の見どころ予報

凡例  
 ◎ ぜったい見られる (と思う)  
 ○ ちょっと気をつければ見られる  
 + よく気をつければ見られる  
 ・ めったに見られない

オオワシ	4月	+	ロシア極東やサハリンなどで繁殖をするため、風蓮湖ではほとんど見かけなくなる。若い個体は遅くまで残ることがあり、5月上旬まで見られたこともある。
オジロワシ	4月	○	風蓮湖付近で繁殖するもの(少数)は、その準備を始める。大半のものは、繁殖のためにロシアに渡る。
タンチョウ	4月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで採食している様子や、休む様子がよく見られる。4月は、交尾・産卵の時期でデリケートなため、観察の際にもしも警戒されたら、距離をとってください。
オオハクチョウ	4月	○	風蓮湖ではアマモを採食し、十分に栄養を蓄えてから繁殖地のカムチャツカ半島などに渡る。昨年生まれの若鳥は、羽が灰色から白に生え換わる途中。
カモ類	4月	○	ヒドリガモ・オナガガモが多く、1000羽以上の群れになることもある。群れの中には、ハシビロガモ・コガモ・マガモ・ヨシガモなど他のカモ類も混じる。海上にはクロガモやスズガモの群れが見られる。
ミヤコドリ	4月	○	昨年の初認日は、4月14日。ロシアなどに渡っていく途中で立ち寄る。例年下旬がピークで、90羽以上が見られた年もある。
オオジシギ	4月	▪	オーストラリアから渡ってくる。昨年は4月22日に初確認した。早朝や夜に、ネイチャーセンター駐車場付近の草原で、オスがメスに求愛するため「ズビャークゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する。
草原の夏鳥	4月	▪	今年は、ヒバリ・ハクセキレイを3月26日に初認。昨年、ノビタキを4月18日、タヒバリを4月27日、ベニマシコを4月20日、オオジュリンを4月21日に初認。
森林の夏鳥	4月	▪	昨年の初認日は次のとおり。アオジ4月21日・ウグイス4月28日・アカハラ4月28日・ルリビタキ4月30日
その他の鳥			カラ類(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ)・ゴジュウカラ・キバシリ・キツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)は、通年見られる。
花			キタミフクジュソウ(今年、3月21日開花)。エゾエンゴサク(昨年、4月18日開花)・キバナノアマナ(昨年、4月20日開花)・アキタブキ(昨年、4月28日開花)。

## 冬と春の共演

## トピックス

3月21日、ネイチャーセンターの観察窓の前でキタミフクジュソウが開花しました。黄色くて可愛らしい花がネイチャーセンターに春を告げてくれました。例年は、4月上旬に開花するのですが、2週間ほど早い開花です。今年は、雪解けも早く暖かかったからだと思います。

キタミフクジュソウを観察していると、30羽ほどの小鳥が木の上から地面におりてきました。なんとその鳥は、ハギマシコ。この冬、春国岱ではハギマシコの群れがしばしば観察されていましたが、2月17日を最後に見かけなくなったので、どこかに移動したかと思っていました。

ハギマシコの好む植物の種子があるようで、彼らは地面をしきりにつついていました。食べることに夢中なのか、窓辺に数人の人がいても気にせず、窓から1mくらいまで近づいてくるものもいました。

ハギマシコは冬の鳥、キタミフクジュソウは春の花。まるで、春と冬が共演しているような不思議な光景に感動しました。



この日、45株のキタミフクジュソウの花とつぼみを確認しました



ハギマシコのくちばしの先に土がついています

## 春国岱クイズ

春になって、春国岱の海岸にヒバリが帰ってきました。草原からまいあがって、青空の一点にヘリコプターのようにとまってさえずり続ける姿を見ると、なんだかうれしくなりますね。

こうした姿から、アイヌの人たちはヒバリのことを釧路では「チャランケ・チリ」、静内では「チャランケ・ポン・チカプ」と呼んでいたそうです。「チリ」はアイヌ語で鳥、「ポン」は小さい、「チカプ」も鳥を意味しますので、「(お日さまに) チャランケをする鳥 (小鳥)」ということです。

では、「チャランケ」の意味は、次のうち、どれでしょうか？

- ① おなら
- ② 話し合い
- ③ キス

# 春国岱ネイチャーセンターからのお知らせ

## 【新型コロナウイルス感染症の対策について】

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターでは、新型コロナウイルス感染症への対策として、以下のことを実施しています。

- ・センター入口に来館者の皆さまの手指消毒用のエチルアルコール・弱酸性次亜塩素酸水の設置。
- ・館内のトイレ、ドア・階段の手すり、カウンターなどの消毒。
- ・館内の換気。
- ・望遠鏡・おもちゃ類・工作コーナーの一時撤去（望遠鏡は必要に応じて消毒済みのものを使用）。
- ・双眼鏡の貸し出しは、消毒済みのものを貸し出し、使用後に再度消毒。
- ・職員の検温・手洗い・うがいの励行、来館者対応時のマスクの着用。

★来館者の皆さまには、入館時の手指の消毒や手洗いにご協力をお願いいたします。

★ねむろトコロジストの会による「ワンコインガイド」は、当面の間、休止となっています。

★根室市の新型コロナウイルス感染症対策情報は、市役所のホームページ（QRコード：右記）もごらんください。



募集中!

## 施設ボランティアグループ「スング」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを常時募集しています。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月に1回、ミーティングを行い（基本的に最終火曜日）、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のある方はネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ：②「チャランケ」は、話し合い、談判とか、抗議という意味です。ヒバリがお日さまに、何かを話しかける、または文句を言っているように見える、ということでしょうね。参考文献 更科源蔵・更科光. 1977. コタン生物記Ⅲ. 法政大学出版局。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

HP. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

Face Book. <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：（開館時間 9：00-17：00）

4月 1・8・15・22・30日

5月 1・7・8・11・12・13・14・20・27日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制）

自然観察の案内やスライド上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録